

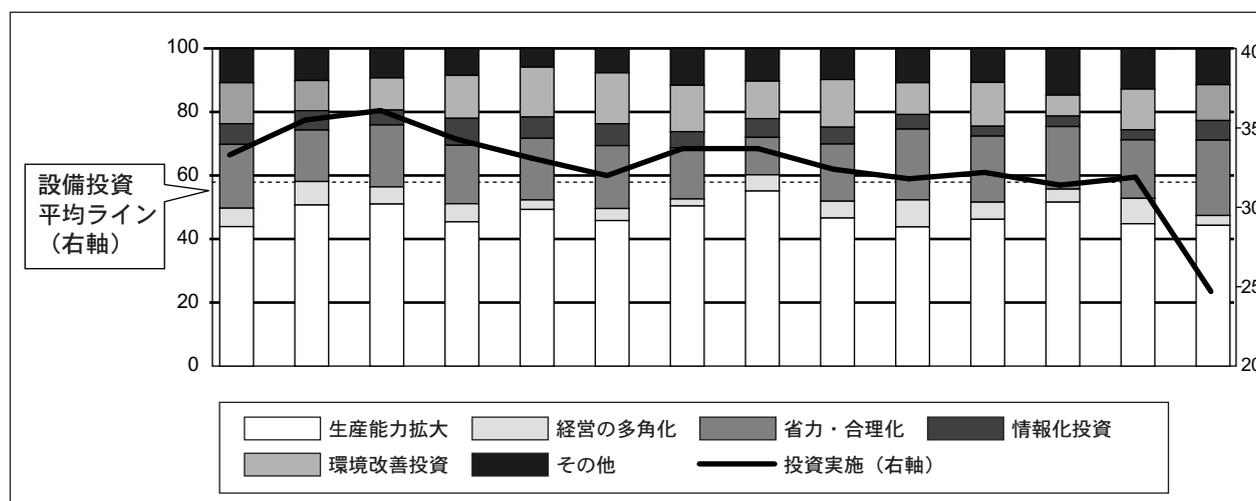
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測					
	16年					17年					18年					19年					20年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	20年						
投資実施	33.3	35.5	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	31.9	24.7							
投資せず	66.7	64.5	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	68.1	75.3							

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	43.9	50.7	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	44.8	44.3
経営の多角化	5.8	7.4	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	8.0	3.1
省力・合理化	20.1	16.2	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	18.4	23.7
情報化投資	6.5	6.1	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	3.2	6.2
環境改善投資	12.9	9.5	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.8	11.3
その他	10.8	10.1	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	12.8	11.3



- (1) 19年7～9月に設備投資を実施した企業は全産業の31.1%であり、17期連続で30%を上回った。19年7～9月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は40.5%、非製造業は22.7%となっている。

19年7～9月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が前期比5.4ポイント増の51.6%となり前期と同じくトップ、次に省力・合理化が19.7%であった。

- (2) 19年10～12月期に設備投資を予定している企業は全体の31.9%で、引続き30%以上の企業が設備投資を予定している。

設備投資の目的は今期と同じ、生産能力の拡大がトップとなっている。

- (3) 19年7～9月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、医薬品製造・電子部品製造・プラスチックであった。また、10～12月期見込でも、電子部品製造の50%以上が設備投資を見込んでいる。□